

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)

2022年02月 月例会議事録

- ◎ 開催期日：2022年02月17日（木） 午後16時00分より
- ◎ 開催場所：Webexミーティング / (株)PADI アジア・パシフィック・ジャパン 会議室 «Seven Seas»
- ◎ 出席者

Webex ミーティング出席者（敬称略）			
BSAC JAPAN	株式会社 BSAC	七尾 慶一	
JP	日本職業潜水教師協会	平川 大輔	
JUDF	全日本潜水連盟	木下 健司	
KD JAPAN	関西潜水連盟	才木 康彦	
NAUI	株式会社ナウイエンタープライズ	岩本 裕輝	
PADI	株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン	中野 龍男	
SDI	株式会社インターナショナルトレーニング	加藤 大典	
STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本 康男	
SSI	HEAD Japan	ワカス ナキ	
Three-i	株式会社海洋リサーチ	戒田（事務）	
オブザーバ	DAN JAPAN	宮里 一敏	平川 雅一
オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	我妻 亨	
一部出席	社会スポーツセンター	高野 修	冒頭あいさつのみ出席
会場出席者（敬称略）			
PADI	株式会社パディ・アジア・パシフィック・ジャパン	小林 秀一（事務局）	
SNSI	SNSI ジャパン株式会社	栗山 禎尚	
DACS	セントラルスポーツ株式会社	三枝 佳紀	

記

進行：事務局 小林

記録：JP 平川（敬称略）

02月 月例会議事録・決定事項

1. マリンダイビングフェア展示用パネルの作成と制作コストについて

⇒ ・ 総額を 14 社で分担し 1 社 約 3,064 円の負担で承認。

- 以前に作成したパネル内容で WRSTC に関する内容を変更し、「認定ダイバーとして常にルールを守ります」セーフティ・ダイバー宣言カードの内容に差し替えて作成する。
- 作成するパネルデータは都度確認を行っていく。

## 2. 「セーフティ・ダイバー宣言」カードに代わる提案について(継続案件)

⇒ ・ デザイン・制作費用などの問題もあるので、継続案件として今後も協議を行う。C カード&ログブックを提示する環境やC カード機能向上について

⇒ ・ BSAC 七尾氏より、C カードの価値を高める・C カードを見せる環境を整える活動の提案。

- C カードだけではなく、ログブックも一緒に持ってほしいとの意見多数。
- セーフティ・ダイバー宣言カードに「C カード+ログブックを持ってダイビングへ」のような内容を一文加えてはどうか？との意見あり。
- 活動の仕方など、継続案件として今後も協議を行う。

## 3. その他

### ① 株式会社ダイビングマン 寺山 英樹様より

⇒ アンケート内容への回答を求められる。

泳力チェックを受けていない・実施していないのではないかと回答について

- 「これから泳力チェックをやります」など項目を強調したチェックを実施していないのではないかと。
- 受講者に不安や負担、ストレスが掛からないように指導員が配慮してチェックを行っている。
- 講習の中で、指導員がそれぞれに工夫を凝らしチェックを行っている。
- 上記背景により、受講生はチェックを受けていない。などと思ってしまう面があるのではないかと。

※会議に出席した加盟団体全社が同様の発言を行う。

⇒ 寺山氏への回答については、C 協として正式な回答を行うのではなく、寺山氏と親交のある SDI 加藤氏から寺山氏へ会議の内容を伝えて頂く事で、C 協の回答としてもらう事で決定。

後日、寺山氏とのやり取りについては、SDI 加藤氏より報告あり。

### ② 一般財団法人 社会スポーツセンター マリンスポーツ振興事業部 高野 修様より

⇒ ・ 一般財団法人 社会スポーツセンターは、2022 年 3 月末日をもって解散が決定。

- スクーバダイビング指導者養成事業は、DAN JAPAN が事業を引き継ぐ。
- その他事業に関しては、現在調整中のため、決定次第改めての案内となる。

### ③ ブルーオーシャンフェス KANSAI 運営事務局 道井 洋之様より

⇒ ブルーオーシャンフェス KANSAI2022 開催による名義後援のお願いがあり。C カード協議会として協力をしていく事で決定。

## ※次回会議予定

- 2022 年 03 月 17 日 (木) 午後 16 時 00 分より
  - ① C カード協議会の運営等について
  - ② 会議日程について
- 次回議事録当番
  - JUDF

以上